

---

# Memories Off ifストーリー

毬藻

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

Memories Of ifストーリー

### 【Nコード】

N8902Y

### 【作者名】

毬藻

### 【あらすじ】

俺、川原<sup>かわはら</sup> 煌<sup>こうつ</sup>は高校二年の夏を過ごしていた。

しかし、両親の都合により海外転勤になった。

だが、俺は海外なんて行きたくないために反発した。

すると、「叔母の家に行けばいいわ」との話があり、俺は二年の二学期に叔母の家に住むことになった。

そして、ここから生活が始まる……かな？

## （前書き）

こんにちは&始めましての方ははじめましてになります。  
拙い文の毬藻といます。

今回は、初々しい（？）時の自分の作品を書きたくってこれを書きました。

とは言っても、これは『サイト』用に書いたプロローグになるんですけどね。

1999年のPSゲーム『Memories Off』のシリーズ（私は1〜4までしかしてませんけど）を題材にします。  
良かったら読んであげてください。

ストーリー物ですが今回掲載はプロローグのみとなります。反応があつたら掲載になると思いますよ？

俺は、もう直ぐ終る夏休みの宿題を手をつけている時。

「コウ、ちょっと良いかしら？」

下から母さんの声が聞こえ、二階の自分部屋から一階に降りてリビングの方に行った。

そこには、ソファーに座ってる父親の姿があった。

今の時刻は夕方4時、帰ってくるとしてはまだ早い時間帯。

「とうとう、リストラにあったのか？」

「そんな訳があるか。お前に話が合ったんだ」

「・・・話したい事？」

俺は、正面のソファーに座り、母さんがリビングに戻ってきて父さんの隣に座った。

「んで、話って一体何なの？」

そう聞くと、二人は顔を見合わせてそして。

「九月から海外に転勤になった！！ どうだ凄いだろう」

そう言ってから高笑いしていた。

「しかもパリよー！！」

母さんも同じく高笑いしていた。

「・・・・・・・・・・はあ!？」

えっと、ちょっと待ってくれ。

上手く話の内容が飲み込めていなかった。

「つまり、9月から海外の転勤になるから転校するって事か？」

「ああ、その通りだ!!」

そう答えた後、再度大笑いしていた。

えっと、これってアレと思っていいのかな？

「何か怒るのが馬鹿馬鹿しくなった」

とりあえず近所迷惑なので。

「俺はここから放れたくないって言ったら？」

とりあえず、海外は英語を覚えるのは嫌なんだけど。

「そう言っても、ここを売り払うからな」

えらい話が早いな。

「そう言っても、俺は日本から離れたくない!!」

その言葉に、二人は笑うのを止めた。

そして、考え始めた。

「ふむ・・・・・・・・・・ここが無理なら」

ポンと母さんが手を叩いた。

「絆叔母さんの所居に行けば良いわ」

絆叔母さん、確か初音島に住んでいたけど引っ越したって行つたし。

って!!

「凄い話を纏まるのが早いんだけど、もしかしてこうなるのが分かっていて、計算していたな」

そう言つと、二人が固まつた。

はぁ、確定ですか。

「叔母さんが大丈夫ならそっちに行くけど」

「大丈夫よ。絆ちゃんも喜んでいたから」

だから、手回しは早すぎです!!

「けど、転校するって事だからあそこって高校二つあったよね？」

「ええ、澄空学園と浜咲学園が何駅か挟んであるわね」

確か澄空が詰襟で浜咲がブレザータイプじゃなかったか？

「転校手続きがあるからな」

そして、俺は迷わず。

「澄空で!!」

そして、その回答が今後の生活を大きく変化するものだと俺お  
ろか誰もが予想できないものだった。

（後書き）

まあ、拙い文です（笑）

この作品は、私が初めて買った本体で自分で買ったゲームですね。懐かしくもあり、色々お世話になりました。

また機会がありましたら今度は掲載になってるかもしれませんね。では、機会がありましたら



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8902y/>

---

Memories Off ifストーリー

2011年11月26日20時49分発行